

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 53
春号

平成 29 年
(2017)

環境ひらかた



ひらかた エコフォーラム 2017 市民に広がる!温暖化防止活動!!



毎年開催している“ひらかたエコフォーラム”を、今年もメセナひらかた会館で2月4日に開催しました。

2015年12月にパリ協定が締結され、世界20ヶ国近い国々が温暖化対策を講じて行こうと決意しましたが、私たちも本気で温暖化対策に取り組まねばとの思いで活動を行っています。

今年のエコフォーラムは、その思い・取り組みが広く市民に広がってきていることを実感してもらえる場になりました。



また恒例となったブースラリーでは、枚方の名産品無料試食券がもらえることもあり、子供から大人までみんなで楽しみながらブースを回る姿も見られ、環境について一緒に考え学べる一日となりました。



*****目次*****

エコフォーラム 2017	P 1
エコフォーラム 2017・環境ミニ講座	P 2・3
各部会報告	P 4・5
お知らせコーナー	P 6
環境トピックス VOL. 19	P 7
シリーズ「地域の環境人登場」	P 8



ひらかたエコフォーラム

初めての試み



環境表彰受賞者の皆さん



省エネコンテスト受賞者の皆さん

*今回大阪ガス株式会社のクレジットによって埋め合わせされた CO₂ の量は次号でお知らせします。

今年のエコフォーラムは、開催回数 11 回を数える中で初めての試みとして、大阪ガス株式会社の協力で“カーボンオフセット”で開催しました。

“カーボンオフセット”とは、私たちが自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うと共に、削減が困難な部分の排出量については排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動の実施、クレジットの購入などによって、削減困難な排出量の一部または全部を埋め合わせを言うのですが、私たちにとってはあまり耳慣れない言葉です。当日会場で実施したアンケートでも 56.4%もの人たちが「聞いたことがない」と回答しており、「聞いたことがある」は 25%、“カーボンオフセット”について「よく知っている」は 0.8%で「知っている」と合わせても 11.3%にとどまりました。



2016 環境ミニ講座 報告

集まって!手を動かして!!話をしながらエコな暮らしのヒントを持ち帰るための講座は、毎回、大好評でした!!



6 月 牛乳パックと卵の殻でモザイクアート!ステキなブローチ完成♪



7 月 夏休み親子企画「ごみ分別釣りゲーム」でミニ学習!



8 月 ペットボトルがかわいいプランターや小物入れに大変身しました♪

2017 報告

“カーボンオフセット”

ロビーに設けられた各ブースでは、参加事業所や団体が、パネル展示や体験などを通して、それぞれの環境への想いや取り組み・活動を知ってもらおうと熱心に説明する姿や、普段見ることができない家電のリサイクル工程に見入る来場者の姿も見られました。また体験コーナーでは子ども達がクラフトや自転車発電で、楽しみながら環境やエネルギーについて学んでいました。



我が家のエコノート 認定証を発行！

環境家計簿「我が家のエコノート」は丸3年を迎えます。スタート時からの参加者をはじめ、1年、2年と継続して取り組んでおられる方々は合わせて200名近くにのぼります。今回のエコフォーラムで継続者に記念品とともに認定証をお渡ししました



十一月 恒例のポチ袋 箸袋づくり
に挑戦しました

2月 レンジで簡単！いちご大福は今回も大好評でした♪



9月 不要になったCDケースにステキなハギレアートが！



1月 省エネをクイズで楽しく学びました



10月 間伐材を使ってイーゼルを作りました。9月に作った作品が飾れます♪

それって常識？ 非常識？

電気とガス、暖房するならどっちがお得？
こたつとホットカーペットどっちがいいの？
電力プラン どの契約がお得？
などなど、お茶を飲みながらみんなでお話ししましょう！



無料



部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

教育サポート部会

楽しい学びは体験・議論

そこから深まる考え つながる行動



環境教育サポート部会・出前授業チームは、学校を主として様々な所に出向き、啓発活動としての出前授業を行っています。内容は『私たちの暮らしと環境』に関して12テーマを用意していますが、その中でも最近の人気テーマは地球温暖化・エネルギー・酸性雨・使い捨て問題・4Rと、社会情勢が反映されていると感じさせられるものとなっています。

こうしたテーマでの出前授業の多くは参加体験型です。例えば、太陽光パネルによって発電されるエネルギー体験や、酸性雨発生装置を用いての酸性雨発生メカニズムの学び、電気エネルギーを作り出すことの大変さを自転車発電で体感するなど、様々な体験や実験を通して学んでもらっています。そうした体験や実験をもとに、他の人と話し合い議論をすることで考えが深まり行動に繋がっていくと、私たちは考えているからです

ところで昨今“アクティブラーニング”という言葉を目にする方も多いと思いますが、文科省の次期指導要領にも取り上げられており、学ぶものが主体的に課題をみつけその解決方法を議論やディベートによって見出していくというのですが、出前授業チームではまさに“アクティブラーニング”の手法を先取りしていると言えるのでは……。皆さんはどう思われますか？



自然エネルギー部会

ピコ水力発電装置の

皆さんの中にはご記憶の方もおられると思いますが、2007年11月、ひらかた環境ネットワーク会議では当時のごみ・エネルギー部会（現：自然エネルギー部会）が中心となり、枚方で初めてとなる「市民共同発電所」を設置しました。設置に当たっては設置場所である「光の峰保育園」をはじめ多くの方々の協力をいただきました。それから10年が経過し、「再生可能エネルギー固定買い取り制度」という追い風もあり、太陽光発電パネルは一般家屋の屋根をはじめ様々な所で目にするようになりました。当部会も、再生可能エネルギーである太陽光発電の啓発促進には一定の役割を果たせたと自負しています。

一方、太陽光発電以外の再生可能エネルギーへの関心は低いように思われます。